

☆1日目のグループワーク向け課題「地域の〇〇×再エネで未来を創ろう！」☆

あなたの考える地域の資源や強み・弱みと再エネを掛けあわせて、新しいものを作り出したり、問題を解決したりできるか、考えてみよう！

どの地域？	小田原市（神奈川県）	どんなまち？	東京からほど近い商工業と物流の要所で人口20万の海沿いの歴史ある城下町
-------	------------	--------	-------------------------------------

かまぼこ屋（名物）

× 再エネ＝

まちぐるみのプロジェクト化

【具体的には？】

地域で信頼を集めるかまぼこ屋の社長をリーダーにして、地域の再生可能エネルギープロジェクトを引っ張ってってもらい、環境マニアだけでない幅広い理解と参加につなげる。

市長（ヒト）

× 再エネ＝

行政の積極的支援

【具体的には？】

市長が強力なリーダーシップで行政組織の体制を整え、地域の再生可能エネルギープロジェクトを支援する制度を作る。

小田原城の再建（名所）

× 再エネ＝

観光の新名所

【具体的には？】

いまの小田原城は戦後にコンクリートで建てたものなので、木造で再建する話がよく出る。それに合わせてお城か敷地内に太陽光発電なども入れ、歴史と最先端を融合させた観光の新名所にする。

二宮尊徳（金次郎）（歴史・文化）

× 再エネ＝

ほうとくエネルギーのコンセプト

【具体的には？】

小田原生まれの二宮金次郎の教えであり、持続可能性にもつながる報徳仕法（報徳思想）を活かし、新しい会社のコンセプトや名前に埋め込むことで、小田原らしい会社にする。

再エネポテンシャル少ない（弱み）

× 再エネ＝

太陽光発電で一点突破！！

【具体的には？】

小田原は温暖な気候で太陽光発電以外に風力や地熱等の資源はほとんどない。それ自体は弱みでもあるが、だからこそ太陽光発電にヒト・モノ・カネの経営資源を集中させて素早く立ち上げる。